令和八年度　広島文化学園大学　学芸学部子ども学科
学校推薦型選抜（公募制後期）

小論文問題用紙（試験時間六〇分、五〇〇字以内）

問題

近年、生成AIをはじめとしたさまざまなAI技術が、私たちの生活の中で身近なものになってきています。文章を書いたり、調べものをしたり、画像を作ったりと、便利に使える一方で、間違った情報をうのみにしてしまったり、自分で考える力が弱くなったりするのではないかと心配する声もあります。子どもたちがAIと上手に付き合っていくためには、使い方を教えるだけでなく、「どんなときにAIを使うのか」「使うときに気をつけることは何か」をいっしょに考えることが大切だといわれています。

学校教育等において、AIの利用に関連して生じる子どもの困りごとを一つ挙げ、それがなぜ子どもにとって、また教育にとって問題になるのか説明しなさい。そのうえで、学校等が、子どもたちがAIと適切に付き合う力（AIリテラシー）を身につけられるように、どのような指導や支援を行うべきか、あなたの考えを五〇〇字以内で述べなさい。